

JICA海外協力隊 新隊員

— 派遣前訓練を終えて —

富山 内山 弘幸さん 職種：自動車整備

58歳の私は語学学習で苦勞をしましたが、自分よりも若い訓練生はいつも私に声をかけてくれて、訓練の合格証を頂くとともに自分のことのように喜んでくれました。無事に訓練を終えたのも訓練生の皆さんとスタッフの方々のおかげと感謝しています。かつてザンビアで隊員を経験してから30年以上が経ちましたが、ことわざ「ザンベジの水を飲んだ者はザンベジに帰ると言う」の通り、再び母なる大地アフリカへ帰ります。協力隊事業へのご理解、ご支援、応援よろしく！

派遣国
ウガンダ



▲派遣前訓練の修了式にて

石川 山本 岳人さん 職種：番組制作

黙食に黙浴、語学授業もアクリル板越しでなかなか声が届かない…。コロナ禍ならではの制約には手を焼きましたが、オンラインツールの操作も画面越しのプレゼンもすっかり慣れました。どんな状況でもできることをやる。それこそがこの時期に欠かせない訓練でした。

派遣国
ベトナム



▲ベトナム隊員 in 語学教室！

石川 川畑 舞さん 職種：小学校教育

派遣前訓練では、語学や感染症、安全管理などについて学びました。特に大変だったことは、語学のスピーキングテストです。テスト前には、同期隊員と話す内容や英語表現を確認しながら対策をしました。その過程で語学力を伸ばすことができたように思います。

派遣国
ナミビア



▲隊員同士で語学学習！

福井 新保 比奈子さん 職種：看護師

派遣前訓練で学んだことは、JICAの仕組み、日本の開発援助、公人として活動する心がまえ、危機管理、健康管理、異文化・他者理解です。入所時、危機管理能力習得のため、5分前行動をとるように指導されました。常に逆算して5分前に集合場所にいるように心がけました。

派遣国
ラオス



▲毎食おいしかった訓練所の食事

JICA北陸の 新任スタッフ の紹介

7月1日付でJICA北陸センターに着任した高野勝郎です。途上国の開発課題と企業の強み・技術を繋げる民間連携事業を担当しています。2016年から約2年間、JICA海外協力隊員（環境教育）として大洋州のフィジー共和国で活動していました。またいつか大洋州の美しい島々に戻ることを夢見て、北陸の地で頑張ります！

Bula!
(フィジー語でHello)



高野 勝郎

独立行政法人 国際協力機構 北陸センター (JICA北陸)
〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファール(オフィス棟)4階
TEL 076-233-5931 FAX 076-233-5959
JICA北陸ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/hokuriku/>

Find us on JICA北陸



ここから
アクセスしてね！

JICA北陸's World News Letter

2021秋号 / Autumn



カントさん

Mr. Khant Nyar Paing
金沢大学自然科学研究科

言葉の壁もあり生活を始めるにあたっては苦勞もありますが、金沢の夏は故郷であるマンマの気候によく似ていますし、食も楽しみながら、ここでの生活を満喫したいと思います。ミャンマーからの留学生は少ないですが、いろいろな国の留学生がいて、素晴らしい環境です。金沢大学での修士課程を終えたら、金沢で働いてみたいと思っています。



マリアナさん

Ms. Condori Cazon Helyn Mariana
金沢大学自然科学研究科

私の出身国ボリビアでは、大学に通うことが難しい人もいる中、両親と姉に支えられ勉強を続け、今、農業の専門家になる事が出来ました。金沢大学の能登水産科学技術センターでは、絶滅の危機に瀕している小型魚の保護のための研究をしています。将来的には母国のチチカカ湖で絶滅の危機に瀕している在来魚にこの手法を適用したいと考えています。能登町に住み始めたこの2か月、人として成長出来たことに感謝し、この美しい国を知ることを楽しんでます。



新しい研修員を ご紹介します！

新たに3か国5名の長期研修員が来日しました。それぞれの専門分野で修士・博士の学位取得を目指します。学業と生活を通じて、日本そして北陸のよき理解者になってくれることを期待しています。



ユスアさん

Mr. Teweng Yedija
Yusua Sibuea
金沢大学自然科学研究科

JICAの長期研修プログラムに参加する機会に恵まれたことに感謝しています。私にとってはこのように様々な国の方と交流するのは初めてですが、日本文化をはじめ様々な文化に触れ、学びたいと思っています。私は、始める時よりも終える時が大切だと思っていますので、このプログラムを通じてさらに成長していきたいと思っています。関わってくださる全ての人に影響を与えられるようになればと思っています。



アリさん

Mr. Hartanto Ari Dwi
金沢大学自然科学研究科

日本で学ぶとない機会を得ました。学位の取得はもちろん卒業後も、先方や友人と研究パートナーなど学術的な協働関係が築けるよう、よいコミュニケーションをとっていきたいと思います。また、日本の文化を学び、理解することも大切だと思うので、学業と生活の両方の経験を大切にしたいと思っています。



ジューリさん

Mr. Hendrawan Juhri
金沢大学自然科学研究科

私はこのプログラムでの研究活動やインターンシップを通して、材料科学分野の技術の向上に貢献したいと思っています。また、労働観や生きがいについても学び、自分の人生についての意味付けを考えたいと思っています。日本語を学び、文化と歴史の町金沢を堪能したいと思っています。

